

KyotoAR を受診される患者様へ

～検査の注意事項・同意～

(重要)主治医の先生も必ずお読みいただき、患者様にご説明ください。

当施設における診察、検査につきましては全身麻酔が必要な場合があります。迅速かつ安全に診察・検査が実施できるよう下記の注意事項を十分にご理解いただいた上でご依頼いただきますようお願いいたします。

1. 絶食・絶水について

診察・検査の 12 時間前から絶食, 3 時間前から絶水をお願いします。

注)絶食・絶水をされていない場合は診察・検査が中止となる場合がございます。

2. 麻酔リスクについて

全身麻酔下にて検査をする場合もございます。何らかの異常を認める動物に対して麻酔をかけ検査を行うこととなりますので、容態が急変する可能性があります。当施設では安全性の高い麻酔方法を採用し万全の体制で検査に臨みますが、残念ながら 100%安全な麻酔はありません。不測の事態により脳死状態に陥る、あるいは死亡するといった不慮の事態が起こる可能性はないとは言い切れません。突発的な不慮の事態が生じた場合、速やかに対処し治療を行います。

*緊急の処置に伴う費用は別途請求させていただきます。

3. 麻酔前検査について

念のために主治医の先生で、麻酔前検査をお済ませください。

検査日の 1 週間前以内の検査をお願いします。

麻酔前検査が実施されていない場合は当日検査させていただきます。また追加検査が必要な場合は検査させていただきます(費用別途)。

*異常がある場合は検査をお断りする場合があります。

*検査結果は当日お持ちください。

4. 予約日時の厳守

予約日時の厳守をお願いします。やむを得ず遅れる場合、またはキャンセルされる場合は速やかに当施設にご連絡ください。無断のキャンセルにつきましてはキャンセル料が発生する場合がありますのでご注意ください。

5. 麻酔処置に伴い、静脈に留置針を設置します。

その際、被毛の一部を刈らせていただくことがございますのでご了承ください。

6. 検査時間について

診察・検査内容によっては長時間におよぶ場合があります。時間に余裕を持ってご来院下さい。

* 麻酔の覚醒状況により時間がかかる場合や入院が必要な場合があります。

7. 費用の精算

診察・検査にかかる費用は当日お帰り前にお支払いいただきます
(現金またはカード)。

* 検査後、治療・手術・入院が必要な場合もありますが、診察・検査費用については当日お支払いいただきます。

8. 患者様の留意点

往復の移動によっても容態が悪化する可能性があります。特にお帰りの際は麻酔覚醒直後のため動物の容態に十分お気を付けください。

9. 持ち物

主治医で実施した検査結果(血液検査, レントゲン検査, 超音波検査, 心電図検査など), 同意書, 検査依頼書(電話で申込みいただいた場合), その他患者様に必要と思われる物(既往歴などの詳細), 主治医が必要と判断したもの。

10. その他

別紙【各種検査について】も必ずお読みください。

注) 患者様の生命を最優先に、当施設の判断により診察・検査が中止される場合があります。

上記内容および別紙【各種検査】について十分にご理解をいただき、ご承諾いただける場合は別紙の同意書にご記入、ご署名・捺印をお願いいたします

<主治医の先生へのお願い>

1. 上記注意事項について患者様にご説明をお願いします。
(不明な点はお問い合わせください)。
2. 麻酔前検査は患者様に必要とされる検査の実施をお願いします。
最低でも患部レントゲン検査・血液検査(CBC, 血液生化学検査:肝機能・腎機能・血糖値・電解質)をお願いします。高齢動物におきましては胸部レントゲン検査もお願いします。
3. 動物の状態によって静脈留置の処置をお願いします(不可能であれば当施設にて実施いたします(費用別途))。

各種検査について

KyotoAR動物高度医療センターは、神経病をはじめ、整形や他の疾病について診療・検査・手術・入院などの専門診療を行っております。ご依頼をいただいた場合や症状に応じて各種検査を実施し、診断、治療に役立てることができます。検査は内容・状況に応じて全身麻酔または鎮静下で実施されます。各種検査についての詳細は下記をお読みください。

1. MRI 検査

当施設ではMRI検査で脳や脊髄などを画像として撮影し、その形や質感などの評価をしております。検査中動いてしまうと明瞭な画像データを得られないため、動物の場合通常全身麻酔下でMRI検査を行います。MRI検査自体は侵襲的な検査ではありません。金属が動物の体内に存在する場合、その周辺の部分の画像に乱れが生じ明瞭な画像データが得られないことがあります。影響が生じると考えられるものとしてマイクロチップ、ペースメーカーなどがあげられます。そのため動物がマイクロチップ、ペースメーカーなどの装着を受けている場合には検査を受ける前に申告してください。MRI検査時、病変の鑑別のために造影剤の投与(静脈注射)が必要になる場合があります。ただし個体により造影剤に対するアレルギー反応を起こす可能性があり、その場合は検査を中止することもあります。

検査の所要時間は2部位までの撮影でおおよそ1時間半～2時間となりますが、それよりも撮影部位が多い場合や大型犬の撮影にはさらに所要時間が長くなります。

2. 脳脊髄液検査

脳脊髄液とは脳や脊髄を覆う液体で、脳や脊髄を衝撃から保護したり、栄養物質の輸送や老廃物の排泄などを行ったりすると考えられています。脳脊髄液検査をすることによりMRI検査などの他の検査では明らかでない脳や脊髄の炎症や出血などが検出できます。またMRI検査で検出された異常がどのようなものであるのか(例えば腫瘍性なのか炎症性のかなど)、より詳しい情報を得ることができるため、総合的な診断に役立ちます。脳脊髄液の採取は後頭部と頸部の間もしくは腰椎の間に長い針を刺して行います。その際は動いてしまうと危険が伴うため全身麻酔下で実施します。また無菌的に行うためにその部位および周囲の毛刈りと消毒をします。熟練した獣医師が施術しますが、手技としては難度が高いものです。また頭蓋内圧の亢進がある場合には、脳脊髄液の採取により脳ヘルニアを起こす可能性があります。生命の危険を伴うことがあります。

3. 電気生理学的検査

神経系や筋肉の生理学的機能を評価するために行います。特に末梢神経筋疾患の診断に有用です。動いてしまうと正確な検査結果が得られないため通常全身麻酔下で、検査用の電極を用いて行います。

4. 整形外科的検査

関節の状態や骨の状態を評価するために行います。通常の整形学的検査は無麻酔で行うことが可能ですが場合によっては、鎮静下でレントゲン検査や各種検査を実施する場合があります。

同意書

年 月 日

KyotoAR 動物高度医療センター 殿

私(依頼者)は動物が麻酔および関連する必要検査等を受けるにあたり、別紙の注意事項の内容を十分に理解し同意致します。

また動物の特異体質, 天変地異, および獣医師として通常要する注意義務の範囲を超えた不慮の事故等の不可抗力に起因する動物の損傷, 死亡, 逃亡などについては免責事項となり, 損害・補償の対象とならないことを了承致します。

以下同意していただける検査項目にチェックしてください。

- 鎮静下レントゲン検査 MRI検査 電気生理学的検査
- その他()

依頼者氏名 _____ 印 _____

住所 _____

TEL _____

緊急連絡先 TEL _____

<検査データ公開に対するご協力のごお願い>

獣医神経病はまだ未知の領域の多い分野です。言い換えれば新しい治療が見いだされる分野でもあります。当施設は獣医神経病疾病の専門診療を行っております。この分野の診療技術を向上させていくためには症例の積み重ねが必要と考えております。本来、検査により得られたデータは患者様のものですが、今後の獣医神経病学研究への発展を目的として、学会発表などで公開させていただくことにご了承いただければ幸いです。個体や依頼主が識別されないよう留意し、個人情報の取り扱いにつきましては徹底してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なおこの回答結果は検査の実施に影響致しません。

検査データの公開に 同意する 同意しない